

尾道市立大学大学院日本文学研究科における修士課程教育に関する基本方針

1 アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れの方針)

日本文学研究科は、以下のような入学者を求めています。

- 大学の学士課程等において日本文学・日本語学・漢文学に関する基礎的な知識と研究方法を修得している人
- 自分自身の研究テーマをもち、それを自らの力で探究していこうという意志のある人
- 本研究科での高度な学びを通じて、社会や文化の進展に貢献していこうという意志のある人

2 カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

日本文学研究科は、次のように教育課程を編成し、実施します。

- 必修の総合科目としてオムニバスの「日本文学・言語文化総論」を置き、日本の文学と言語文化を総合的に捉える視点を養う。
- 日本古典文学・日本近代文学・日本語学・漢文学のそれぞれに特講と演習を設けて必修の基幹科目とし、高い専門知識と研究能力を育む。
- その他専門と関連の多数の選択科目を配置し、広い視野と深い学識の養成を図る。
- 選択科目の中に「比較文学特論」や「地域文学特論」等を置き、国際文化や地域文化に関する教養の充足を促す。
- 徹底した少人数教育と個別の研究指導により、修士論文執筆の力を養成する。

3 ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

日本文学研究科は、本研究科の教育目標に到達した、以下の要件を満たす学生に対して「修士(日本文学)」を授与します。

- 所定の期間在学し、修了に必要な授業科目を履修して基準となる単位数(30単位)を修得した人
- 日本文学・日本語学・漢文学等に関する深い学識と高度な研究方法を修得した人

- テキストの精読や実地調査と関係資料の精査をもとに、学術上有意の修士論文を提出し、その審査と口頭試問に合格した人(文芸創作もこれに準じる)
- 豊かな人間性と高い倫理観をもち、本研究科で身につけた学識と研究能力を生かして積極的に社会に貢献できる人